



苦手の物も食べれたよ

中央小6年 古閑千秋

好きな物、きらいな物いろいろあったよ。ときには、辛い物も出たりしたよ。

私は、辛い物は、あまり好きではなかったよ。ほかの人にもあげようと思ったんだけど、食べてみないと分からないと思い食べてみた。おいしかった。

きらいな物を、食べれるようになったのは、給食のおかげ。いつもおいしい給食ありがとう。

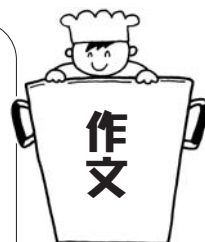
給食

木山中1年 坂井英孔

給食を食べるのはなぜだろう。それは給食を作ってくれる人がいるから。

でもその前に、その給食の材料を作ってくれている人がいるから。

でもその前に、動物や植物があるから。そのすべてに感謝の気持ちをこめていただきます。



給食

広安小5年 住 晋太郎

ぼくは今、11歳だ。生まれてから、今日まで、何回食事をしただろうか。赤ちゃんの時は、母乳を飲んでいたら、それをのぞいたら、1万回以上は、食事をしていることになる。その中には、給食も入っている。

小学校に入学する前、ぼくは、牛乳が飲めなかった。飲む練習もしたけど、なかなか好きになれなかった。それに生野菜も苦手だった。でも、1年生の時の担任の先生が、「二度に全部飲めなくてもいいよ、少しずつがんばろうね」と言ってくれた。昨日よりも少し多く飲めた時は、ほめてくれた。そして、1本全部飲めた時は、「すごいね」と手をたたいてほめてくれた。ぼくは、先生の笑顔が見たくて、それから、毎日、最後まで飲んだ。

5年生になった今では、おかわりをするぐらい牛乳が好

きになった。

ぼくは、毎朝、今日の給食のメニューを見る。自分の好物だと、思わずガッツポーズをする。一番好きなメニューは、「カレー」だ。

他には、「シューマイ」、「のっぺい汁」なども大好きだ。今まで苦手だった野菜も食べれるようになった。その中でも「キャベツスープ」が大好きで、今では、母に作ってもら

うほどだ。母は、「給食のおかげで好ききらいが無くなって、良かったね。料理を作るのは、時間がかかるけど、食べるのは、あつという間に終わるでしょ。だから、毎日、苦労して、作ってくださる給食センターの人たちに感謝してたべなさい」と言う。ぼくもそう思う。

今年ぼくは6年生になる。

4月には、新入生が入ってくる。きつと牛乳が苦手な子もいるだろう。ぼくは言ってやりたい。「大丈夫だよ。きつと牛乳が好きになるよ」。

「ありがと」の

気持ちをこめて

益城中2年 山田友子

みなさんは食事の前後に、

「いただきます」と「ごちそうさま」を言っていますか。

私は正直言わないときがありました。そんなときはいつもばあちゃんや、「ちゃんと言わんとだめたい」と

言いました。小さいころの私はそんなに大事なあと思っていました。ばあちゃんや「物を食べるとき、人間じゃない生き物の命をとって食べているんだから、ちゃんと感謝をしないさい。」

食べたくても食べれない人はたくさんいるんだよと言われました。そのとき私は、ああ、そうか、人間の都合で動物たちは命をおと

しているんだなあと思いました。でも、人が生きるために必要なことだからしょうがないじゃんとも思

いました。

何かを得るかわりに犠牲や失うものがあるかもしれない。でもそれを、「かわいそう」や「しょうがない」でおわらせるのはだめだと

思います。私たち人間のために命をおとしたのだから、すこく感謝すべきだと思います。

今私は必ず「いただきます」と「ごちそうさま」を言うようにしています。心の中で、「ごめんね。ありがと」と思いながら…。

みなさんも自分を見つめて直してみてください。そして必ず食事の前後に「いただきます」と「ごちそうさま」を言ってください。料理をしてくださった方々に、そして、生き物に「ありがと」の気持ちをこめて…。



1月27日、住永町長が給食巡回会食として飯野小学校を視察し、6年生児童と楽しく給食を試食しました。